

佐々木和之・石原明子 オンライン対談

「傷つき分断されたコミュニティの修復と和解」

— 水俣・福島・ルワンダを結ぶもの —

2024年2月29日(木) 18:30-20:00 YouTube ライブ配信



石原明子さん(熊本大学大学院人文社会科学部・准教授)は、水俣や福島原発事故被災地など、構造的暴力のもとで傷つき分断されたコミュニティの修復と和解の実践と研究に取り組んでこられました。一人一人のこころの葛藤から、身近な関係性の葛藤・対立、さらには組織や地域での対立や問題、そして国家や国際問題までを広く視野にいたした紛争解決・平和構築学を大学院で教えておられます。

佐々木和之さんは、ルワンダで被害者と加害者の和解のセミナーに携わり、「償いの家づくり」を通して、壊されたままとなっていた被害者の家を加害者が造り直すという修復的正義による和解、赦しへのプロセスに寄り添ってこられました。現在、アフリカ諸国、日本などからの留学生を迎え、紛争と対立の世界の中で、非暴力による平和構築を構想できる学生を育てています。



対談は、「YouTube ライブ配信」でおこないます。どなたでも視聴できます(無料)。配信内容は録画され、同じ URL で後から見ることも可能です。URL は「佐々木さんを支援する会」のホームページ (<http://rwanda-wakai.net/>) でも確認できます。



YouTube URL <https://youtube.com/live/2Cc1qovtuPs?feature=share>

YouTube コード

対談者の紹介

石原明子 (いしはら あきこ) : 熊本大学大学院人文社会科学部・准教授 専門は、紛争変容・平和構築、修復的正義。構造的暴力のもとで分断され、傷ついたコミュニティの修復と和解の実践と研究に取り組む。米国の Eastern Mennonite University では、修復的正義の創始者と見なされるハワード・ゼア博士のもとで学ぶ。卒業実践ではルワンダを訪ね、「修復的正義による和解」の取り組みを続ける佐々木和之さんと交流し、最近 10 年は、ルワンダ内戦後の和解と共通するモデルで、原発事故被災地や水俣など、傷つき分断されたコミュニティの平和構築に取り組む。国際基督教大学、京都大学院、カリフォルニア大学バークレー校(公衆衛生修士)、Eastern Mennonite University(紛争変容修士)修了。東北アジア平和構築インスティテュート(NARPI)運営委員でもある。著書(共著)に「和解のための実践哲学」『正義と平和の口づけ：日本カトリック神学の過去・現在・未来』(高山貞美・原敬子編、日本キリスト教団出版局 2020年4月)など

佐々木和之 (ささき かずゆき) : プロテスタント人文社会科学大学 PIASS (Protestant Institute of Arts and Social Sciences) 開発学部 准教授 日本バプテスト連盟国際ミッション・ボランティア。大学で熱帯農業を学んだ後、1988年から計 8 年半、飢餓が深刻なエチオピアで農村自立支援に従事する。その間、戦争によって開発協力の成果がもろくも崩れ去るのを目の当たりにしたことが、平和構築のために働くことを志すきっかけとなる。2000年10月からブラッドフォード大学平和学部博士課程に在籍し、ルワンダの紛争問題と平和構築・和解プロセスについて研究。2005年から、ルワンダの現地諸団体と協力し、大虐殺後の癒しと和解・共生のためのプロジェクトを展開。2011年から、PIASS 平和学教員として、平和構築ワーカーの育成とネットワークづくりに注力している。近著に「和解という果てしない旅：ルワンダ「和解」集中講義の経験から」『福音と世界』2023年5月号

*終了後、Zoom で懇談の時を持ちます。ご参加ください。ミーティング ID: 851 9521 4952 パスコード: ubumwe

佐々木さんを支援する会 世話人会代表 中條 智子

事務局 〒235-0041 横浜市磯子区栗木 1-22-3 / TEL 045-774-9861 洋光台キリスト教会内(萩原永子牧師)

事務局長 播磨 聡(広島キリスト教会 TEL 082-293-8683)